

ボランティア講師が支える中学生への救急実技講習



平成25年度から長生郡市の全中学校(13校)で実施している中学生への救急実技講習は、応急手当普及員(一般住民の方で資格取得された方)等のボランティア講師に支えられています。(※生徒の感想「丁寧に教えてくれたので、命を救える自信が持てました。」「命を救えるようになった手で、自分や他人を傷付けたり、いじめたりしてはいけないと思った。」※生徒の感想は、当組合ホームページに詳細を掲載しています。)

中学生に対する救急実技講習 事業概要

29年2月

1. 事業目的

- ① 生徒に応急手当、心肺蘇生法及びAED使用方法を習得させることにより、学校生活等における事故やけがに生徒も迅速に対応できるようにし、安心安全な学校の構築を目指す。
- ② 生徒の「命の尊さ」に対する意識を向上させる。
- ③ 毎年、生徒に救急実技講習を受講させることにより、地域全体に受講者を増やし、地域の安全率、救命率の向上を図る。

2. 事業主体

長生郡市の各教育委員会、長生郡市広域市町村圏組合消防本部及び同組合地域医療民生室による共催事業

3. 講習会の内容

- ① 座学予習 【1時限；50分】実施者は各学校の教師
内容→ DVDで心臓突然死の実態や事例を視聴。
地域で中学生が父親を救命した事例の手記を朗読
心肺蘇生の流れを予習
- ② 救急実技講習 【2時限；100分】実施者は広域職員及びボランティア講師等
内容→ 心肺蘇生法・AEDの使用法の実技修得（班ごと）
※ ボランティア講師登録人数 消防職員；99人、応急手当普及員61人

4. 事業経緯

- ① 23年8月 普通救命講習（3時間）試行、早野中35人、茂原中54人
- ② 24年11月 救急実技講習（100分）試行、茂原中128人、早野中66人、南中170人、3校合計364人
- ③ 25年1月 ②で実施の中学生（女子）が自宅で父親に心肺蘇生を行い救命する。
- ④ 25年3月 郡市教育長・校長会長等による検討会議で郡市全体での実施決定
- ⑤ 25年度～ 郡市内全中学校（13校・約1300人）で授業の一環として主に2学年を対象に開始

5. 29年度計画

- ① 前年度と同様の方式で、郡市内の全中学校で実施予定（対象人数1300人）

6. 28年度アンケート内容と感想文

別紙のとおり

【中学校における救急実技講習】アンケート

全体 回答数：1, 141名

本日は、【救急実技講習】にご参加頂きありがとうございました。今後の事業の参考にさせて頂きたいので、アンケートにご協力をお願い致します。

※ 該当するものに○をしてください。

1. 中学校のどこにAEDが置いてあるか知っていましたか？

(757) 知っていた。(66.3%) (383) 知らなかった。(33.6%)
(1) 未記入 (0.1%)

2. 心肺蘇生法とAEDの使い方を詳しく知っていましたか？

(198) 知っていた。(17.4%) (943) 知らなかった。(82.6%)

↓

2-2. 今回の講習前に、心肺蘇生法やAEDを使える自信はありましたか？

☆ 心肺蘇生法 → (118) 自信はあった。(59.6%) (80) 自信はなかった。(40.4%)

☆ AED → (115) 自信はあった。(58.1%) (83) 自信はなかった。(41.9%)

3. 今回の講習で、心肺蘇生法やAEDを使える自信はつきましたか？

(1,085) 自信がついた。(95.1%) (56) 自信はつかなかった。(4.9%)

↓

3-2. 自信がつかなかった理由は何ですか？

- ① いざという時、慌ててしまい、きちんとできるか分からないから
- ② 自分は積極的な人ではないし、覚えるのは苦手だから
- ③ 胸骨圧迫する力が足りないから
- ④ もし間違えて使ってしまう、最悪な事態が起こってしまったら嫌だから
- ⑤ 人工呼吸があまりうまく出来なかったから
- ⑥ AEDの操作方法が不安だから
- ⑦ 手順を覚えられなかったから
- ⑧ 人の命が救えなかった時、怖くて生きていけないから
- ⑨ 不器用だから
- ⑩ 素早くできなかったから
- ⑪ 応用できる自信がない
- ⑫ 勇気が出ない
- ⑬ 胸骨圧迫で正しい所を押すと緑ランプが点くけれど、何度やっても赤ランプしか点かなかったから
- ⑭ いざという時、一人ではできないから

4. 今回の講習で、難しかったところがありますか？

(571) ある (50.0%) (569) ない (49.9%) (1) 未記入 (0.1%)



4-2. どんなところですか

- ① 胸骨圧迫が、強く・早く・絶え間なくできなかった
- ② 腕を垂直にし、自分の体重を乗せ、胸を押し続けること
- ③ 胸骨圧迫で、なかなか緑ランプが点かなかった
- ④ 細かい確認を忘れてしまう
- ⑤ かなり力を入れないと胸が沈まなくて大変だった
- ⑥ 胸骨圧迫からAED対応へと素早く切り替えること
- ⑦ どのあたりが心臓か、どの辺りを押して良いのかあまり分からない
- ⑧ 肘を伸ばして押すのが大変だった
- ⑨ 胸骨圧迫の時の体勢
- ⑩ 人工呼吸の時、気道確保が難しく、なかなか息の吹き込めなかった (どのくらい息を吹き込んでいいのか分からない)
- ⑪ 大きな声を出すことや、AEDの扱いに戸惑った
- ⑫ 力がないので、しっかり心肺蘇生法ができなかった
- ⑬ 胸骨圧迫をしながら、会話をすること
- ⑭ 手順がたくさんあって、実際できるか分からない (手順が細かくて覚えられない)
- ⑮ 実技は人形だけど、実際はもっと固いと思うのでできるか不安。でも、怖がらずにやりたいと思えた
- ⑯ 胸骨圧迫をする位置や手の置き方が難しい
- ⑰ 順番どおりにやること。胸骨圧迫をやり続けること
- ⑱ 胸骨圧迫をしていると、時々押す位置がずれてしまったり、強く押せなかった
- ⑲ 胸骨圧迫のリズムや力加減が難しい
- ⑳ 呼びかけなどが恥ずかしい
- ㉑ 同じ力で押し続けることが難しい
- ㉒ 人工呼吸で大きく口を開けて息を送ること
- ㉓ 人工呼吸の気道確保で、顎をぐいっと上げるのが重くて大変だった
- ㉔ 人工呼吸で鼻をつまむことを忘れてしまう
- ㉕ 心肺蘇生を救急隊が来るまでずっと続けるのは大変
- ㉖ 電気ショックのタイミングがイマイチつかめない
- ㉗ ボランティアの方が、始めに詳しく教えてくれなかった
- ㉘ 全部

5. 今回の講習で人の命を救うことや命について考えたこと、また、講習の感想などを記入してください。

- ① これが学びたかった！！
- ② 人の命を救うことは簡単じゃないことが分かり、自分の命や人の命を大切にし、助けたいと思いました。
- ③ 手を使う (胸骨圧迫) だけで人を救えることができるんだと驚きました。
- ④ 「命を自分が救うことなんてできない」と思っていたのですが、今回の講習で「自分が命を救える人」になれたんだと実感しています。

- ⑤ 僕は今回の講習で「人の命はやろうとすれば誰でも救えるんだ」と思いました。そして「命はとても重いものだけど、少しの知識で救えるもの」ということを知りました。
- ⑥ 教え方がとても分かりやすかった。人の命が、自分の手で救えるようになったのでとても勉強になった。
- ⑦ 心臓マッサージをやるだけで命が助かるなら、日本中にこの事業を広めた方が良いと思いました。
- ⑧ ついこの間祖父を亡くしました。その時「人が旅立つ」ということは「とても悲しく辛いこと」というのを学びました。そして、今日の講習で命の大切さを知ったので、これからも生かしていきたいです。
- ⑨ 胸骨圧迫で手が痛くなりました。しかし、人の命がかかっているから止められないと思いつけられました。講師の方々、ありがとうございました。
- ⑩ 最初は「自分には関係ない」と思っていたのですが、事前学習でいろいろな話を聞いて他人事ではないと思いました。
- ⑪ 「自分の手が人を救う」という言葉に「なるほど」と思いました。講師の方が分かりやすく教えてくださったので、よくわかりました。早速、家に帰ったら家族に教えます。
- ⑫ 講師の方達が優しく分かりやすく教えてくれたので、覚えやすかったです。この体験で人の命の尊さを改めて感じることができました。
- ⑬ 実際にやってみると、自分達ができることばかりで驚きました。
- ⑭ 最初は「いやだなあ・・・」とか「やりたくないなあ・・・」と思いましたが、講師の真剣な教え方を見て「きちんとしなきゃ」と思いました。それから私も「生きたい」と思っている人の命を一人でも救えるのなら、できるだけ救いたいと心から思えました。
- ⑮ 私の父も心肺蘇生法やAEDの使い方、やり方を知っていたのを昨日聞きました。今回のことを家族に話すことができました。
- ⑯ 僕は今までAEDのことに興味はなく、使い方も知らなかったけど、いろいろな先生達に大切なことを教えてもらって良かったと思う。これを家族に教えたいと思う。
- ⑰ 自分の手で人々が救えることに誇りを感じました。とても良い講習でした。
- ⑱ ボランティアの人達が優しく、分かりやすく教えてくれたので、救急救命のやり方がよくわかりました。
- ⑲ 今まで人の命を救うことを気にしなかったが、時間があれば考えようと思う。
- ⑳ 今回はとてもいい経験をするのができ、協力してくれた方全員に感謝しています。
- ㉑ 人の命を救うことの大切さ、偉大さがわかりました。
- ㉒ 胸骨圧迫がすごく大変でした。「この大変さが命を救う」「そうだな」と思いました。
- ㉓ 皆さんの分かりやすい説明で、たくさん人の命が救えると思います。
- ㉔ 将来、人を救う仕事をしたいと思った。
- ㉕ 命はとても大切である。生きなければならないというのを改めて知った。
- ㉖ ボランティア講師が、毎回毎回丁寧に教えてくれてとても嬉しかった。自分が一つの命を救えると思うと、今回の講習はとても良い時間になりました。
- ㉗ 心肺蘇生は医者しかできないことだと思っていたけど、中学生でもできるということを知りました。とても良い経験になりました。

- ⑳ だいぶ自信はついたけど、本当に目の前で人が倒れてしまったらまだ上手くいかない気がする。
- ㉑ 命を救うのは、消防士や救急隊員だけと思っていました。でも、僕にも救える命があるのだと思いました。
- ㉒ 細かく教えてくださったおかげで、難しいと感じることもなくできて良かったです。
- ㉓ 南中や茂原中の生徒が大切な命を救えたと聞いて「真剣に講習を受ければ自分も人を助けることができるかもしれない」と思い、しっかりと話を聞くことができた。家族に教えたり、練習をして備えていきたいです。
- ㉔ とても分かりやすく教えてもらいました。2年生全員がこの講習を受けたので、一人でも命が救えたらこの講習は大成功だと思いました。
- ㉕ 自分は嫌なことから逃げてしまう性格なので、自分から人の命を救えるように、しっかり周囲に目を配って、これからの生活に取り組んでいきたい。
- ㉖ 誰かが倒れていたら、絶対に助けようという勇気はなかったけど、今日の学習で勇気が出ました。誰かを助けたいと思います。
- ㉗ 胸骨圧迫は思ったより強くやることにびっくりした。
- ㉘ 人の命を救うのは技術なんかじゃなくて「助けたい」という気持ちだと分かりました。
- ㉙ 父親・おばあちゃんが倒れた人たちは、自分一人で助けられるか不安だったと思う。だけど、あきらめず頑張って胸骨圧迫をし続けた彼女たちは本当にすごいと思った。
- ㉚ 勇気をもって一步踏み出すことの大切さが分かった。
- ㉛ 身近な人が倒れたりした時に、パニックになるかも知れない。何をしたらいいか分からないかも知れない。しかし、だめもとでやってみようと思いました。もしかしたら救えるかも知れないので。
- ㉜ 講師の方々がとても分かりやすく、要点をまとめて教えてくれたので、今までは特に興味もなく、よく分からなかった心肺蘇生法・AEDのことについて関心を持つことができました。
- ㉝ 小学校でもやったので、忘れていた所をもう一度確認する良い機会になりました。
- ㉞ 小学6年生の時、心肺蘇生法を学びました。その時は「どうせ、何も起こらない」「家族や友達、先生、他の人がいるから大丈夫」と人任せにしていました。しかし、今回の講習で「私がやらなきゃ」「人に教えなきゃ」という責任感が出てきました。
- ㉟ 講習の進行が早くて、手順をしっかり覚えられなかった。
- ㊱ ボランティアの方が、始めに詳しく教えてくれなかった。グループに分かれた時、詳しく教えてくれるともっと分かりやすくできると思った。

感想文から抜粋

1. 少し前に祖父が脳梗塞で倒れた。大切な人を守るため、とても大切な授業で学ぶ事が沢山あった。
2. 近所の方々も65歳過ぎの方が多くなってきたので、もしもの時には役に立ちたい。
3. いつか人を救えたら、それは全部今回教えてくださった皆さんのお陰です。
4. 講師の方が、楽しく、大事なところはしっかり教えてくれたので、とてもためになった。
5. 何事も助け合いが大切。世界中の人が講習を受けて助け合える世の中になればいい。
6. こんな簡単な事で命を救えるなら勇気を出して実行していきたい。
7. 講師に「少しの勇気が大切なんだよ」と言われて頑張ろうと思った。命の重さを考えられたいい機会でした。
8. この経験で命について深く考えるようになった。倒れている人の命綱になって、いのちをつなぎ、輝く未来に歩いて行ってもらいたい。
9. この講習で自信を持ち、声をかける勇気をもらいました。将来、人を救う素晴らしい仕事につき、沢山の命を救いたい。
10. 命って簡単に失えない。もし死にたくても、人の命はなんにも変えられないことを知りました。
11. 「自分が出来れば人に教えられる」「重要さを知ってもらえる」と思い一生懸命受けた。
12. 命の大切さ、これからの生活の仕方を考える大事な時間となった。
13. 始めはとても緊張していたが、楽しく講習をしてくれて緊張がほぐれた。
14. この講習で人生のページを刻みました！
15. 初めて死の怖さを知り、命を大切に習ったことを生かして生活していきたい。
16. 「生きる」という言葉の意味をこの講習で初めて実感した。命の大切さを体で感じることができ、とても嬉しかった。
17. サッカーのクラブチームの試合でシュートが頭に当たって倒れた生徒に、コーチが心肺蘇生をして一命をとりとめた。今度は僕も手順良く救助したい。
18. 「その一押し一押しに命がかかっているからね」と言われ「大変だと言っていられない、私も命を救えるようになりたい」と思った。
19. 家族に教えたら「ありがとう、その時はやってみるね」と言われた。
20. 「一歩踏み出す勇気の大切さ」と「あきらめない心の大切さ」を学んだ。
21. 世の中の人全員老衰で亡くなるようになればいい。がんは無理でも殺人や戦争はなくなって欲しい。この講習で命の尊さを学んだ。
22. 「うまいから救急隊になりな」と言われ、うれしくて自信がついた。
23. 全然興味がなかったが、もっともっと救命救急について知りたくなった。
24. 今回の講習で、いじめなどで「死ね」とか「殺す」など軽率な発言は人としていけないと改めて感じた。
25. 僕も心臓が止まったことがあるので、今からしっかり勉強して医学の道を歩み沢山の命を救いたい。
26. 消防のほか、ボランティアの方々がたくさん来た瞬間、講習の真剣さや重さが伝わってきました。
27. 自信と勇気が人を救う最大の鍵だと感じた。
28. 将来消防に入り、人の命を救えるようになりたい。
29. 人を傷付けたりする人もこの講習を受けて命の大切さを分かってもらいたい。